



2018年4月1日 第837号

教育研究システム 大幅刷新 PCスキルの向上に期待

本学のPC環境が今夏、大きく刷新される予定だ。情報環境機務部の宮脇俊郎さんは「PCスキルは大学でも、社会に出てからも必須の能力。特に新入生には、新しくなった環境でぜひ身に付けてほしい」と、学生への期待を示した。

刷新の内容は主に三つ。一つ目は、OSがWindows7からWindows10にアップグレードされること。Windows7のサポート終了に伴ったもので、2022年までの4年間、Windows10が使用される予定だ。二つ目は、記憶装置のHDD（ハード・ディスク・ドライブ）からSSD（ソリッド・ステート・ドライブ）への変更に。SSDはHDDよりも高速かつ静音性に優れる。PCの起動時間短縮を、ハード面から図った。三つ目は、移動プロファイルから固定プロファイルへの変更。こちらは不要な通信を削減することで、ソフト面から、ログインまでにかかる時間を短縮



本学のPC教室の様子

することが狙いだ。さらにPC約2900台、プリンター約1500台の入れ替えなどを予定しているという。

最後に同部の谷口亮さん「スマートフォンは便利だが、考えをまとめるなどのクリエイティブな作業にはPCのほうが向いている。しかし最近では、すべての作業をスマートフォンで済ませてしまおう学生が増えている」と、学生のPCスキルの低下に警鐘を鳴らした。

ITの進歩がすぎまじい今日だが、まだ我々人間が直接コンピューターを操らねばならない。もしあなたがあまりPCを使わないなら、これに機にもっとPC触れてみてはいかがだろうか。



発行
関西学院大学新聞 総部
662-0891
西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp
HP: http://kgpress2009.wixsite.com/kgpress2015
Twitter: @kg_shinbun

Welcome to KWANSEI! ～新入生への祝辞～



関西学院 院長
田淵 結

新入生のみなさん ご入学おめでとうございます。個人的なことですが私が関西学院大学文学部に入学したのは1969年、今年がちょうど50年目となります。半世紀前の関西学院大学は大学紛争真っ只中、機動隊に守られて体育館で受験、合格はしたもののキャンパスは過激派学生に完全封鎖され入学式どころではありません。授業開始は6月30日、やっと8月後半から夏休みになりました。今では考えられないような状況の学生生活でしたし、この時、一部の学生たちの暴力的で過激な動きで破壊されたのはキャンパスだけではなくありませんでした。学生諸君が、自分たちの大学がどうあるべきかを共に考えることもほぼなくなってしまいました。でも今年入学されるみなさんにはぜひ、友人や教職員と共に関西学院のより良いあり方を考えていく大切な仲間であっていただきたいと強く願っています。みなさんのご活躍を期待します。 We are Kwansai!

新入生の皆さん、関西学院大学へのご入学おめでとうございます。教職員、在学生を代表して心から歓迎いたします。



関西学院大学 学長
村田 治

現在、ICT技術の発達などによって世界が小さくなりグローバル化が急速に進んでいます。新入生の皆さんが社会に出て働く頃には、ほとんどの人が仕事の上で海外とのやり取りを行うようになるでしょう。そのためにも、英語の運用能力を高めることは勿論のこと、大学時代に一度は海外に出て行ってほしいと思います。アメリカやヨーロッパの大学も、学生の留学を積極的に促進しています。その理由は、異なった文化や価値観に触れることにあります。言いかえれば、多様性への理解が求められています。関西学院大学は、2014年度に文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業に採択されました。その構想名は「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」というものです。その基本にあるのが、入学した学部での学びの他に、①海外留学等のインターナショナルプログラム、②他分野を学ぶ副専攻プログラム、③実践的な学びであるハンズオン・ラーニング・プログラムのいずれかに挑戦するダブルチャレンジ制度です。二つのことに同時に挑戦することによって、主体性が身につく多様性への理解も深まり、何よりも、未知へのチャレンジ精神が培われると考えます。第4代院長C.J.L.ベーツ先生は、関西学院の建学の精神を「Mastery for Service」（奉仕のための練達）というスクール・モットーとして表現しました。自分の利益のためにだけではなく、世界人類のために自分を鍛えよと訴えられたのです。皆さんには、関西学院大学での学びにおいて、スクール・モットー「Mastery for Service」の意味を考えてほしいと思います。

どうか、自分自身にチャレンジし自己を鍛え、世界に羽ばたいて世界人類の幸福に貢献するという「高い志」を持ってほしいと心から願います。



関西学院大学 大学図書館長
田和 正孝

ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんは、やり遂げたいたくさんの想いを胸に抱いていることでしょう。これから、それぞれ高い専門性に基いて、社会に存在する様々な課題を追究することが待っています。そのためには多くの書物を渉猟したり、資料を集めたりすることが欠かせません。本学の図書館は約200万冊の書物とたくさんの電子情報や映像資料などを提供できる、まさに宝の山です。幅広い専門分野にわたる蔵書は内外から高く評価されています。図書館に足を運んでみましょう。皆さんが望む書物に必ず出会えるはずですよ。

大学図書館は今後も学修に集中できる静謐な空間を提供することはもとより、友人同士でリラックスしながら学修できる空間など、多様なニーズに応えられる空間を創りだすために努力して行きます。皆さんも、大学図書館を活用すること、そして図書館で豊かな時をもつことを、どうぞ大学生活での達成目標の一つに加えてください。よきキャンパスライフを過ごされますよう、心からお祈りします。



関西学院大学学生連盟本部 本部長
湊 雅哉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ 関西学院大学を選んでくれてありがとう！ 新しい仲間を迎えられた事を嬉しく思います。今、たくさんの希望や不安を胸に関西学院大学の門をくぐってきたことでしょう。大学生活はあなた次第でいくらでも充実したものにできます。私たち関西学院大学学生連盟本部、また加盟団体は皆さんの大学生活がより良いものとなるようサポートしていきます！ 関西学院大学生であることを誇りを持って、今日から始まる4年間を充実したものにしてください！ ではまた、お会いできることを楽しみにしています！

今年2月に韓国平昌にて冬季オリンピックが開催された。なかでも、スノーボード男子ハーフパイプの平野歩夢選手の銀メダルは国民の感動を誘った。平野選手は大会決勝で、縦横にひねりながら4回転する「ダブルコーク1440」という最高難度技を連続で成功させ、高得点を飾った。しかし、惜しくも僅差で前回メダリストのシヨン・ホワイト選手に敗れてしまった。実は平野選手は、昨年のアメリカで開催されたプロ大会で、同じ技に挑戦し失敗している。肝臓と左ひざのじん帯を損傷し、一時は選手生命を脅かす大けがを負っている。そして、全治3か月に加え、2ヶ月にも及びリハビリの末、平野選手は再び世界の舞台に立った。平野選手が勝負を決めるために繰り出したのは、かつての自分が敗れた「ダブルコーク1440」だった。かつての自分を乗り越えて、最高の演技を披露した平野選手。彼の生き様は私たちに力を与えてくれた。寒さに耐えた冬は終わった。暖かな春は出会いと別れ、そして新たな挑戦の季節でもある。新入生は今までとは違う何かに、在学生も自身の成長のために新しい挑戦をしてみたいかがだろうか。過去の自分を乗り越えたと、そこで見える景色は格別だ。



今年2月に韓国平昌にて冬季オリンピックが開催された。なかでも、スノーボード男子ハーフパイプの平野歩夢選手の銀メダルは国民の感動を誘った。平野選手は大会決勝で、縦横にひねりながら4回転する「ダブルコーク1440」という最高難度技を連続で成功させ、高得点を飾った。しかし、惜しくも僅差で前回メダリストのシヨン・ホワイト選手に敗れてしまった。実は平野選手は、昨年のアメリカで開催されたプロ大会で、同じ技に挑戦し失敗している。肝臓と左ひざのじん帯を損傷し、一時は選手生命を脅かす大けがを負っている。そして、全治3か月に加え、2ヶ月にも及びリハビリの末、平野選手は再び世界の舞台に立った。平野選手が勝負を決めるために繰り出したのは、かつての自分が敗れた「ダブルコーク1440」だった。かつての自分を乗り越えて、最高の演技を披露した平野選手。彼の生き様は私たちに力を与えてくれた。寒さに耐えた冬は終わった。暖かな春は出会いと別れ、そして新たな挑戦の季節でもある。新入生は今までとは違う何かに、在学生も自身の成長のために新しい挑戦をしてみたいかがだろうか。過去の自分を乗り越えたと、そこで見える景色は格別だ。



パンフレット、記念誌、報告書
制作・編集、デザイン

和泉出版印刷株式会社

【本社】
〒594-0083 和泉市池上町4丁目2番21号
TEL: 0725-45-2360(代) FAX: 0725-45-6398
E-mail: info@izumi-syuppan.co.jp

【大阪営業所】
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-1-6 本町カヤビル
TEL: 06-6946-1073(代) FAX: 06-6946-7684



響く金賞の歌声

第86回関西学院 グリークラブリサイタル

2月11日、兵庫県立文化芸術センターKOBELCO大ホールにて第86回関西学院グリークラブリサイタルが開催された。総動員数は2001名で、チケットは12月中に完売したという。この公演は5つのステージで構成されており、アンコールではPhilipp部長の齋藤匠さん(神4)も演奏された。

「今回の公演で一番力を入れた曲は、第5ステージの『ディオの夜の旅』だ。この曲は本公演を以て卒業された指揮者の先輩が、高校時代に混声合唱で指揮をしたことのあるものだった。今回男声合唱をするにあたって、混声合唱とは一味違う、男声合唱のパワフルな魅力を観客の皆様にお届けできるように力を入れた」と話した。

また、第4ステージでは、OB会である新月会と高等部グリークラブとの合同ステージを行った。新月会の合唱の特徴は深く重たい発声であり、現役部員の混声向けのよ

うな軽めの発声とのすり合わせにとっても苦労したという。「今年度のリサイタルは、ど

学生のリアルな姿を伝える

広報室のシリーズ広告

昨年12月から、本学のホームページやTwitter、YouTube上において「答えはキャンパスにある」というシリーズ広告が展開されているのは「存在だろうか。本学のキャンパス風景をバックに、大学生活や青春にまつわる『問題』が提示された、非常にシンプルなデザイン」の広告だ。2月末時点でポスター写真は15枚、動画は7本が投稿されている。

今回の広告を手掛けたのは、本学の広報室だ。広報室は、主に本学ホームページやTwitterアカウントの運用、そして広報誌「関学ジャーナ

ル」の発行をしている。今回は受験シーズンに向けて、初の試みとなる高校生をターゲットとした広告を作成した。

今回、「TwitterやYouTubeで展開している動画は、約6秒と短いのが特徴だ。様々な情報があふれるTwitter上では、短い時間の動画は閲覧されやすく、リツイートによる拡散も期待できる。またYouTubeでは、動画再生の前に強制的に視聴される「バンパー広告」として、1か月間に約70万回再生された。広報室の齋藤基晴さんは、工夫した点について「高校生がターゲットの広告ではあった



リサイタルの様子

が、高校生以外の方が見ても共感いただけるように意識した」という。最終的には、キャンパスの美しさを訴求しつつ、高校生に本学をさらに知ってもらえるような広告が完成した。

また、今回登場する人物は、全員が本学の学生だ。体育会や応援団総部に出演を依頼したほか、一般の学生に対してはその場で出演許可をもたせて撮影を行った。「外部の役者による演技では伝わらない、関学生のリアルな姿を発信できたと思う」と齋藤さんは話した。

現在、ホームページ上では「答えはキャンパスにある。」シリーズのギャラリーサイトが展開されている。高校生で



シンプルな構図が目をひく広告

マナーを守って美しく

学内喫煙問題

本学では、喫煙者とは喫煙者が共存する「分煙」の方針をとっている。しかし、昨今の状況を見ると、本学に実現できているかに疑問が残る。

西宮上ヶ原キャンパスの学生は、B号館前の屋内喫煙所や図書館横、商学部棟前の喫煙所を目にするところがある。そこでは、指定の場所以外で喫煙する学生や、散乱する吸殻が見受けられる。

学生課の山岡靖明さんは「喫煙所以外で喫煙する学生には、見かけ次第注意をしている。しかし、喫煙はマナーやモラルの話であり、学生が指導されるべきことではないのでは」と苦言を呈する。喫煙については、すでに義務教育や高校の間で学んでいるはずだ。煙草の副流煙には有害物質が含まれており、その被害は周りの人も受ける。20歳を超えて、大人の一員であるにもかかわらず、他人の迷惑についても考えるよう叱られるのは、大人として恥ずかしいことではないか。

一方で、喫煙所の数と規模が年々縮小しており、スペースが足りないため周辺で吸っているという声も聞く。確かに、学内喫煙所のスペースは狭い。休み時間になると、肩をぶつけながら喫煙をしなくてはならない。だからと言って



清掃活動をする法学部学生自治会員たち

「答えはキャンパスにある。」シリーズのギャラリーサイトが展開されている。高校生で

また、非喫煙者からの声ばかり届き、喫煙者からの意見がほとんど聞かえてこないのも問題である。学長室の細間 椋さんも「昨年度は学生の喫煙マナーについて、多くの非喫煙者から意見が寄せられた。喫煙者も規制に文句を言うのだけではなく、自分たちも『こうだったら気持ちよく喫煙できる』といった意見を出してほしい」と話した。

関西学院大学
新聞総部

HP: <https://kgpress2009.wixsite.com/kgpress2015>

Twitter: @kg_shinbun

Facebook: 「関西学院大学新聞総部」

Mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

関学唯一の剣道サークルです！ @kg_kendo

剣道サークル **若月会**

西宮市立中央体育館の剣道場で活動中！ 新入部員募集中

— 私たちの街は、私たちで守る —

117 KOBE ほうさい委員会

メンバー大募集!

【お問い合わせ】神戸新聞社営業局企画推進部 TEL. 078-362-7077
E: 117kobe@kobe-np.co.jp
HP: <https://www.kobe-np.co.jp/info/bousai/>

論説 日進月歩 震災を『忘災化』させないために

日本は「地震大国」と呼ばれて久しい。地震はプレート境界のひずみによって発生する、自然災害である。したがって、プレートの境目にある国では、地震の発生回数が大陸国と比べ多い。中でも、マグニチュード5.5以上の地震の頻度を見ると、日本は年1.14回となっており、中国の2.1回、インドネシアの1.62回、イランの1.43回に次ぐ、世界第4位の地震大国となっている。中国が巨大地震の発生頻度が一番多い国だが、国土面積も広大なので特定地域における被災率は高くないと考えられる。逆に、小国で頻度が高ければ被災率は高まる。つまり日本は、これらの国より被災率が高いのだ。

今も、日本のどこかでマグニチュード1〜2程度の小規模地震が起こっている。このような小規模地震は一日に1回や2回程度発生しているが、マグニチュード6〜7の巨大地震は長期的な周期をもって発生している。巨大地震の典型的な例は1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災や2016年の熊本地震などがあげられる。さらに今後30年以内に70%の確率で南海トラフ地震が発生するとの予測がある。

このいつた状況の中で肝心となるのは防災活動である。防災活動とは、地震などを含む災害を未然に防止するために行われる取り組みである。防災活動を体現する言葉として「自助・共助・公助」がある。「自助」とは、家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難したりするなど、自分で守る事を言う。「共助」とは、地域の災害時要援護者の避難に協力することや、地域住民と消火活動を行うなど、周りの人々と共に助け合うことである。「公助」とは、市役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など、公的支援のことを言う。災害時には「自助・共助・公助」が互いに連携し一体となることで、被害を最小限にできると同時に、早期の復旧につながる。

この「自助・共助・公助」の力が確認されたのが、1995年の阪神淡路大震災である。特に「自助」と「共助」が重要な役割を担っていた。阪神淡路大震災では家屋などの下敷きとなった人のうち、80%が自力で脱出(自助)、16%は近隣住民が救出(共助)、4%は警察・消防・自衛隊が救出した(公助)。そのなかで近隣住民により救出された人は約80%が生存していたのに対し、警察などにより救出された人の生存率は、到着時間がかかった影響などで約50%に留まっている。このように「自助・共助・公助」は災害時にその力をいかんなく発揮する。

しかし、現代ではこれらのつながりが希薄化しているのではないかと世論は危惧している。防災に関する知識不足(自助)や共働きでマンション居住者の増加などによる横のつながりの減少(共助)などだ。この状況が続くと、災害時に十分に連携が取れなくなってしまう、混乱が増大する可能性がある。

このようにならないために対策として「防災教育」が挙げられる。「防災教育」とは、将来起こりうる災害から自らの命を守るために災害発生時の現状を学ぶ、社会と地域の現状を学ぶ、災害発生時の対処の仕方などを学び、そしてそれを実践に移すことが防災教育の目標である。文部科学省は①災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができる。②災害発生時及び事後に、進んで他の人々と集団、地域の安全に役立つことができる。③自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できる。この3つを「防災教育」の指針として挙げている。これらの防災教育にも、課題をはらんでいる。教育現場では、知識・経験不足への不安や学事日程・指導計画・経費との兼ね合い、実施しても継続できないという点から防災教育の実施に踏み切ることができない。

では教科化して、時間を確保して教育すればよいという声もあるが、各教育委員会の対応は冷ややかだ。文部科学省中央教育審議会も、学年ごとの課題を整理して、指導要領改訂と防災教育の教科化を視野に入れた検討を行っている。全国都道府県教育委員会連合会による調査報告書によると、防災教育教科化に対して47都道府県中32県が「必要ない」と回答(68%)している。ここが一番重要な点ではないだろうか。確かに、防災教育を教科化すれば、授業を担当する教師(防災教育指導者)の人材育成なども行わなければならない。教科化の話だけが進めば現場とのかい離は大きくなる。

しかし、教科化しなければ防災意識は身につかない。現在の義務教育現場では、避難訓練等でしか防災というものに触れられない。このような状況が続くと、天変地異などに対応できない。その中でも、最も危惧しているのは「忘災」化である。「忘災」とは文字のごとく災害を忘れるということである。人間には記憶があり、日々書き込まれている。被災地以外の人にとって災害とは、情報の羅列であり、書き込まれ、忘れ去られることが多い。災害を忘れることは学ばべき教訓を雑多な情報で洗い流してしまう。最終的には、命を失うリスクが高まる。このようなことは、あってはならない。未来の命を守るためにも、防災教育がいち早く確立される社会になってほしい。

このように「自助・共助・公助」は災害時にその力をいかんなく発揮する。しかし、現代ではこれらのつながりが希薄化しているのではないかと世論は危惧している。防災に関する知識不足(自助)や共働きでマンション居住者の増加などによる横のつながりの減少(共助)などだ。この状況が続くと、災害時に十分に連携が取れなくなってしまう、混乱が増大する可能性がある。

このようにならないために対策として「防災教育」が挙げられる。「防災教育」とは、将来起こりうる災害から自らの命を守るために災害発生時の現状を学ぶ、社会と地域の現状を学ぶ、災害発生時の対処の仕方などを学び、そしてそれを実践に移すことが防災教育の目標である。文部科学省は①災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができる。②災害発生時及び事後に、進んで他の人々と集団、地域の安全に役立つことができる。③自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できる。この3つを「防災教育」の指針として挙げている。これらの防災教育にも、課題をはらんでいる。教育現場では、知識・経験不足への不安や学事日程・指導計画・経費との兼ね合い、実施しても継続できないという点から防災教育の実施に踏み切ることができない。

では教科化して、時間を確保して教育すればよいという声もあるが、各教育委員会の対応は冷ややかだ。文部科学省中央教育審議会も、学年ごとの課題を整理して、指導要領改訂と防災教育の教科化を視野に入れた検討を行っている。全国都道府県教育委員会連合会による調査報告書によると、防災教育教科化に対して47都道府県中32県が「必要ない」と回答(68%)している。ここが一番重要な点ではないだろうか。確かに、防災教育を教科化すれば、授業を担当する教師(防災教育指導者)の人材育成なども行わなければならない。教科化の話だけが進めば現場とのかい離は大きくなる。

しかし、教科化しなければ防災意識は身につかない。現在の義務教育現場では、避難訓練等でしか防災というものに触れられない。このような状況が続くと、天変地異などに対応できない。その中でも、最も危惧しているのは「忘災」化である。「忘災」とは文字のごとく災害を忘れるということである。人間には記憶があり、日々書き込まれている。被災地以外の人にとって災害とは、情報の羅列であり、書き込まれ、忘れ去られることが多い。災害を忘れることは学ばべき教訓を雑多な情報で洗い流してしまう。最終的には、命を失うリスクが高まる。このようなことは、あってはならない。未来の命を守るためにも、防災教育がいち早く確立される社会になってほしい。

では、SGU事業に関する5つのキーワードで「協定に基づく海外派遣学生数日本一」を掲げている。その中で、留学はこのキーワードの最も重要な位置づけだ。では、なぜ入学したの1回生に留学を勧めるのか。今回は、留学の支援を行っている国際連携機構事務部の木瀬洋美さんに話を聞いた。

このように本学では、留学が盛んに行われているが、なぜ1回生の夏休みに留学を勧めるのか。木瀬さんによると二つの理由によって留学を勧めている。一つ目は、1回生のうちに留学に行くと、今後の活動の選択肢が増えるということだ。一例として、1回生の夏休みに外国語研修に参加し、新たな発見を得て2回生で交換留学や中期留学に参加するという人も増えている。このように、留学はその後の学生生活を大きく動かす。特に1回生のうちに留学に行くことで得られる影響も大きい。今後の学生生活の選択肢を一つでも多く増やすために、留学を勧めている。

最後に木瀬さんは「新入生の方には情報収集を進めてほしいです。留学に行きたいと思った時にすぐに行動できるようにしてほしい」と思っています。4年間の限られた大学生活では、何もしないのが一番もったいないので、充実した学生生活にするための一つの選択肢として「留学」を入れてほしいです」と語った。ぜひ新入生の方には、自分なりの選択肢を見つけて、大学生活を楽しんでもらいたい。

追跡!! SGU 第18回

1回生の夏休みだけど 留学はありますか?



本学のスーパーグローバル大学創成支援事業についてシリーズでお伝えしている「追跡!! SGU」。今回は、新入生歓迎号として、特別企画入学したんだけど、夏休みの留学はどうですか?という観点から留学を紹介する。本学

では、SGU事業に関する5つのキーワードで「協定に基づく海外派遣学生数日本一」を掲げている。その中で、留学はこのキーワードの最も重要な位置づけだ。では、なぜ入学したの1回生に留学を勧めるのか。今回は、留学の支援を行っている国際連携機構事務部の木瀬洋美さんに話を聞いた。

このように本学では、留学が盛んに行われているが、なぜ1回生の夏休みに留学を勧めるのか。木瀬さんによると二つの理由によって留学を勧めている。一つ目は、1回生のうちに留学に行くと、今後の活動の選択肢が増えるということだ。一例として、1回生の夏休みに外国語研修に参加し、新たな発見を得て2回生で交換留学や中期留学に参加するという人も増えている。このように、留学はその後の学生生活を大きく動かす。特に1回生のうちに留学に行くことで得られる影響も大きい。今後の学生生活の選択肢を一つでも多く増やすために、留学を勧めている。

最後に木瀬さんは「新入生の方には情報収集を進めてほしいです。留学に行きたいと思った時にすぐに行動できるようにしてほしい」と思っています。4年間の限られた大学生活では、何もしないのが一番もったいないので、充実した学生生活にするための一つの選択肢として「留学」を入れてほしいです」と語った。ぜひ新入生の方には、自分なりの選択肢を見つけて、大学生活を楽しんでもらいたい。

最後に木瀬さんは「新入生の方には情報収集を進めてほしいです。留学に行きたいと思った時にすぐに行動できるようにしてほしい」と思っています。4年間の限られた大学生活では、何もしないのが一番もったいないので、充実した学生生活にするための一つの選択肢として「留学」を入れてほしいです」と語った。ぜひ新入生の方には、自分なりの選択肢を見つけて、大学生活を楽しんでもらいたい。

では、SGU事業に関する5つのキーワードで「協定に基づく海外派遣学生数日本一」を掲げている。その中で、留学はこのキーワードの最も重要な位置づけだ。では、なぜ入学したの1回生に留学を勧めるのか。今回は、留学の支援を行っている国際連携機構事務部の木瀬洋美さんに話を聞いた。

このように本学では、留学が盛んに行われているが、なぜ1回生の夏休みに留学を勧めるのか。木瀬さんによると二つの理由によって留学を勧めている。一つ目は、1回生のうちに留学に行くと、今後の活動の選択肢が増えるということだ。一例として、1回生の夏休みに外国語研修に参加し、新たな発見を得て2回生で交換留学や中期留学に参加するという人も増えている。このように、留学はその後の学生生活を大きく動かす。特に1回生のうちに留学に行くことで得られる影響も大きい。今後の学生生活の選択肢を一つでも多く増やすために、留学を勧めている。

最後に木瀬さんは「新入生の方には情報収集を進めてほしいです。留学に行きたいと思った時にすぐに行動できるようにしてほしい」と思っています。4年間の限られた大学生活では、何もしないのが一番もったいないので、充実した学生生活にするための一つの選択肢として「留学」を入れてほしいです」と語った。ぜひ新入生の方には、自分なりの選択肢を見つけて、大学生活を楽しんでもらいたい。



普段は吉岡記念館で活動している、宗教音楽委員会傘下団体の関西学院ゴスペルクワイアを紹介しよう。

関西学院ゴスペルクワイアは、社会学部の宗教主事を務める打樋啓史教授と当時の学生オルガニストによって、2000年に創設された。ゴスペルとは、黒人奴隷たちが救いを求める歌を作ったことがもとで生まれた、アメリカ発祥の宗教音楽である。アイコンタクトやジェスチャーといった、身体を大きく使って歌を表現することが特徴だ。直立不動で歌う一般的な合唱とは違い、ゴスペルはより自然体で歌うことができる。部長の中川聡さん(文・3)は「アットホームな雰囲気、自由に歌を楽しめるのがゴスペルの魅力です」と語る。

部の主な行事としては、昼休みに開催されるヌーンコンサート。最後に、中川さんは「音楽の経験がなくても、大人気で歌えば恥ずかしいことはありません。各学部の音楽チャペルにもぜひ足を運んでみてくださ」と話していた。

またホームページ上には、過去のコンサートの写真や動画が投稿されている。部の愛称でもある「Power of Voice(声の力)」を大いに感じる」とができるだろう。(T・N)



サートのほかに、新月祭やクリスマスにランバス記念礼拝堂でコンサートを行う。また、不定期ではあるが、学内で行われる結婚式でも歌を披露する。そして春の新歓シーズンには、チャペルアワーに各学部のチャペルをまわって、歌を披露している。学部によって曲目や構成を変えていて、宗教主事からのリクエストに応じることがあるという。

最後に、中川さんは「音楽の経験がなくても、大人気で歌えば恥ずかしいことはありません。各学部の音楽チャペルにもぜひ足を運んでみてくださ」と話していた。

またホームページ上には、過去のコンサートの写真や動画が投稿されている。部の愛称でもある「Power of Voice(声の力)」を大いに感じる」とができるだろう。(T・N)



新聞総部

大学生になり、新しい友達を作りたい。学内外問わず様々な人と交流したい。大学に入ったのを機に新しいことに挑戦したい。そんな想いを叶えてくれるのが新聞総部だ。

新聞総部の全体の活動は毎週金曜日の放課後、新学生会館3階の部室にて会議が行われる。会議が固定されているため、趣味や業との両立もしやすい。

会議では各々が記事になりそうなニュースネタを持ち寄り、その中から取材先を決定する。そして、取材先に連絡を取りイン



タビユするところから、記事の執筆や校正、紙面のレイアウトを作成するところまで、すべて部員たちで行う。また、できあがった新聞を学内に設置、手渡しで読者のもとへ届けるのも部員の役割である。

新聞総部は2か月に1度主に学内に向けて『関西学院大学新聞』を約3000、8000部発行している。学内のニュースはもちろん、教授やOBへのインタビュー記事、本学で活躍する学生の紹介を行っている。また、部員オスメのお店や本を紹介する記事もある。さらに、「自動車免許特集」や「関学チャペルアワー特集」のような特集面など、本学における様々な情報を掲載している。新聞を作っていく上で、学生に限



らず教授や職員の方々とも繋がりができるのが新聞総部の強みである。

大学は広い。ここには様々な価値観や想いを持っている人がいる。そんな人たちと繋がりが、自分を高めるには新聞総部が最適である。一度しかない大学生活、あなたも新聞総部で形に残る活動をしてみてはどうだろうか。

基本情報

活動場所: 新学生会館3階 新聞総部部室

活動日時: 金曜日の19時~

部員数: 7人

連絡先: 中村 達彦(商・3)
kgpress2009@yahoo.co.jp
Twitter @kg_shinbun

年間スケジュール

4月 新聞発行、新歓

5月 新聞発行

7月 新聞発行、上半期総会

9月 合宿

10月 新聞発行、新月祭取材(三田)

11月 新月祭取材(上ヶ原・聖和)

12月 新聞発行、下半期総会

2月 新聞発行

基本情報

活動場所: 吉岡記念館2階研修室1

活動日時: 火曜日の昼休みと
金曜日の17時~20時

部員数: 15人

連絡先: 高木 悠(人福・3)
drm29394@kwansei.ac.jp

年間スケジュール

4月 新歓

5月~6月頃 ヌーンコンサート

8月 夏休み練習開始

9月 合宿

11月 新月祭コンサート

12月 クリスマスコンサート

3月 春休み練習開始



古美術研究クラブ

大学に入ったけれど、自分と趣味の合う友達はいらうか。大学生活を友達と楽しく過ごしたい。そんな新入生におすすなのが、文化総部古美術研究クラブだ。

古美術研究クラブの主な活動は、月1回の散策だ。古美術と聞いて大半の人は、壺や掛け軸などを思い浮かべる人が多いのではないだろうか。しかし、古美術研究クラブでは、お寺巡りを行う。壺や掛け軸を扱う美術館はあまりメインにはならず、散策ごとに班長が行く場所を決める形式



だ。散策を行う場所は、京都の場合がほとんどだ。他にも、毎週火曜日の放課後に全体会議を行ったり、長期休暇には合宿なども行う。

火曜日の会議を含め、いずれも参加は自由である。そのため、アルバイトとの両立しやすく、他団体にも所属しているという部員もいる。

今年の散策では、4月と5月にそれぞれ2つの散策コースを計画しているという。代表である早川美希さん(文・3)は「きつと気になる場所が見つかるのでぜひ来てほしい」と語る。早川さん自身も、最初の散策で訪れた建仁寺が今でも一番の思い出だと話す。散策の後には、新入生も含めた部員全員で、ご飯会



も計画している。

最後に新入生へのメッセージとして「古美術ではどんな人でも馴染める。部活動があるから学校に来るといいうぐらいい、学生生活が充実したものであるだろう」と意気込む。大学生になるのを機に新しいことに挑戦するきっかけにしてほしい。

基本情報

活動場所: 新学生会館3階和室1

活動日時: 火曜日の放課後
休日 月2回程度

部員数: 40人

連絡先: 早川 美希(文・3)
mikikippe@gmail.com

年間スケジュール

4月 新歓散策

5月 新歓散策

6月 部内散策

7月 部内散策

8月 部内散策

9月 夏合宿、部内散策

10月 部内散策

11月 引退散策

3月 春合宿

いい部屋、増やしています。

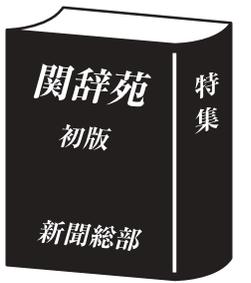
レオパレス21

■レオパレス21に関する詳しい情報・お問い合わせは

株式会社レオパレス21 本社/東京都中野区本町2-54-11 国土交通大臣免許(10)第2846号

レオパレスセンター西宮 TEL.0798-69-1161

住所: 兵庫県西宮市甲斐園1-10-4 岩崎ビル1F 営業時間 10時~19時(水曜18時閉店)



エイ・ごうかん【A号館】

西宮上ヶ原キャンパスの最北端にある校舎。法学部生の言語の授業が多く行われる。もはや学生を遅刻させ、単位を落とさせようとしていると思えない。

謎なのは、真横に法学部棟があるにもかかわらず、法学部生向けの掲示はA号館で行われることである。法学部棟の存在意義を疑う。

しかし、地下には会議や自習ができるラーニングスペースがあるやさしさ。また、法学部学生自治会や傘下団体の部屋もここにある。辞書を忘れても、学生自治会が貸して

くれるので安心だ。

キャンパス【Campus】

本学のキャンパスは建築家であり、キリスト教伝道者でもあったウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏が設計したものである。その建築様式はスパニッシュ・ミッション・スタイルというもので、入学当初、筆者はその様相を某アウトレットパークと重ね合わせていた。歴史ある本学とその設計者に謝罪したい所存である。

西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパス、西宮聖和キャンパスの3つのキャンパスで主に授業が開講されている。

今号は特集面がこつちに出張。決して新店舗に負けたくはない。当たり前のように使われる関学用語を、新聞編集部員がいくつか紹介。これであなかも関学マイスター！

るが、他に関西に3つ、東京に1つの計7つのキャンパスが存在している。

きょうがく・ウェブ・サービス【教学webサービス】

本学が提供するwebサイト。休講や補講、教室変更、時間割変更のようなお知らせを提供してくれる。学期はじめの履修登録から、最後の成績発表までを支える、まさに「大学生活の伴侶」ともいえる存在。関学生にとっては、単位の次に大事な必須ツールなのだ。ただし、アクセスが集中するとダウンすることがあり、成績発表の時間が学年別に分かれているのも、そのためである。

【5別】

第5別館の略称。図書館裏で、日号館の隣に位置する。昨年度外壁が塗り直された。生協のコンビニがあるが、

【5別】

果たしている。それでいて、決しておごらず、ユーモアにあふれ、愛妻家でもあったという。まさに、史上最強の柔道家と呼ぶにふさわしい男だ。

しかし、木村の映像はあまり残っておらず、口頭で伝説としてしか語られなかった。そこで著者、増田俊也は18年にわたる狂気の取材執筆の末に、本書を書き上げた。タイトルは強烈であるが、この本には激動の昭和時代における武道・格闘技の流れや、武道家たちの生き様が刻まれている。そして、これは増田から木村への介錯の一冊である。木村は1917年に熊本で生まれる。同郷出身で当時最強とうたわれた鬼の柔道家、

とても狭くチャペルアワーと昼休みには非常に混雑している。置いている商品の数も種類も少なく、早めに買いに行かなければお弁当やお惣菜を手に入れることは困難だ。しかし、なぜか丼ものだけは種類も数も豊富である。

チャペル・アワー【Chapel Hour】

キリスト教主義に基づいた、本学独自の教育プログラム。1時間目と2時間目の間に設定されている30分。本来はチャペルへ行く時間として設定されているが、チャペルに行かない学生は自習に励んだり、友達との談笑に花を咲かせたりする。レジユメを印刷するために、パソコン教室が混雑し始めるのもチャペルアワーになってからである。

【Mastery for Service】

麗しき本学のスクールモットー。訳は「奉仕のための錬達」。キリスト教精神に基づいており、社会や人類のために有益な奉仕をする人を養成したいらしい。校歌にも出てくるので、自然と覚えるだろう。昔は体現者が多くいたが、そこらへんは「関学」学で学んでほしい。特に終戦直後、失業者に服とお金を与えたO Bの話は感涙必須である。

最近はおっぱら友人にレジユメをせびるときや、過去問を見せてもらうために使う。提唱者の第4代院長ベーツ先生は泣いているだろう。先生すまん。

【Robin】

海外へ渡った木村は、ブラジルでエリオ・グレイシーに勝利した後、アメリカ本土でプロレスラーへ転身する。帰国した木村は、のちのプロレスブームの立役者、元大相撲関脇の力道山とタッグを組む。しかし、負け役ばかりに耐えかねた木村は、マスコミを通じ力道山に真剣勝負を求めた。のちに「昭和の巖流島」と呼ばれる試合である。

この試合で木村は、力道山による謎の台本破りにより、全国民の前で敗北をさらされる。武道家であり、プロレスはショーだと考えていた木村と、プロレスをビジネスにしたいと考えていた力道山。二人の考えのすれ違いは、最悪の形で表に出た。この敗北に

「テイクアウト Robin Hood's」のこと。体育会系の学生御用達の、ボリュウムとコスパに優れた弁当を販売している生協のお店。壁には店内には、様々な運動部のお礼の寄せ書きがかかっている。

ワンチャンある

ない。どの程度ないかというのと、地面に向かって「ブラジルの人、聞こえますかー!？」と言って、ブラジルから返事が来る確率と同じくらいない。もっとも発言

者により信頼できる度合いは異なるが、これを発する人間は往々にして、傍から見ると完全にノーチャンである。自身がワンチャンあると思いつくのは勝手だが、それを人に

編集後記

スペースが余ったときに書くもの。大体面白くない内容になる。まったくもって謎である。さて、今回は関学用語の一部を、茶化しながら抜粋しました。新入生の方々が、関学用語をマスターして、立派な関学生になってくれるのを楽しみにしています。ただ百問は一見にしかずとも言っているので、実際に見に行ったりしてくださいね。真面目に本学について知りたい方は、本学ホームページから、関西学院史編集室様の「関西学院事典」にアクセスできます。新聞編集部についても載っているの、ぜひご覧ください。

最後は、本特集関係者の方々にお願い申し上げます。調子に乗りすぎました。どうか取り潰しだけは動弁してください！

【お断り】

今号では、連載「おすすめのお店探し隊!」は、8面特集として掲載しました。また、連載「教授の背中」はお休みとします。ご了承ください。



「木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか」

増田 俊也



木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか

あなたは木村政彦を知っているか。身長170cm、体重85kgと格闘家としては大柄ではないながら、極限の猛稽古と負けたら切腹という壮絶な覚悟で勝利を重ねた。特に大外刈りと腕絡みは格別に鋭く、講道館での使用禁止を言い渡されていた。その実力も凄まじく、15年間無敗、全日本選手権13連覇を果たした。そして、当時の武道家たちが全力でその勝利を求めた天覧試合でも、一本勝ちで優勝を

果たしている。それでいて、決しておごらず、ユーモアにあふれ、愛妻家でもあったという。まさに、史上最強の柔道家と呼ぶにふさわしい男だ。

しかし、木村の映像はあまり残っておらず、口頭で伝説としてしか語られなかった。そこで著者、増田俊也は18年にわたる狂気の取材執筆の末に、本書を書き上げた。タイトルは強烈であるが、この本には激動の昭和時代における武道・格闘技の流れや、武道家たちの生き様が刻まれている。そして、これは増田から木村への介錯の一冊である。木村は1917年に熊本で生まれる。同郷出身で当時最強とうたわれた鬼の柔道家、

海外へ渡った木村は、ブラジルでエリオ・グレイシーに勝利した後、アメリカ本土でプロレスラーへ転身する。帰国した木村は、のちのプロレスブームの立役者、元大相撲関脇の力道山とタッグを組む。しかし、負け役ばかりに耐えかねた木村は、マスコミを通じ力道山に真剣勝負を求めた。のちに「昭和の巖流島」と呼ばれる試合である。

よって、木村は表舞台から姿を消されたのだ。本書は、著者の増田の「もしも最初から真剣勝負だったら、木村が勝っていた」という自身の仮説から書かれた。増田は北海道大学柔道部出身で、木村の時代から続く特殊ルール「柔道」を経験している。一本かタツプ、失神しか認められないという凄まじい世界である。大学中退後に新聞記者になった増田は、木村の没後に掲載された、猪瀬直樹の木村についてのコラムを読む。そこでは、生き恥を晒し続けた木村の屈辱が語られていた。そこで、増田は尊敬する木村の名譽を回復させるために本書を書き始めたという。

木村のその後だが、力道山へのリベンジを待っている間に、力道山は事故死する。プロ柔道に参加したことで柔道界から排斥され、プロレスでも力道山に負けた男とされた木村は死に場所を失った。そんな中、木村は師である牛島の勧めで母校、拓殖大学の柔道コートとして何とか一命を取り留めた。そして、牛島から木村へと受け継がれた鬼の柔道を伝えるべく、岩釣兼生をスカウト。かつての木村のような稽古を重ねた岩釣をはじめとする拓大柔道部は、ついに全日本学生柔道優勝大会で優勝を果たした。木村にとって、これは柔道界への復讐だったのかも知れない。

力道山に先立たれ、柔道家としても居場所を失った木村は75歳で病死する。力道山が華々しい人生を送った一方で、木村は生き恥を晒し続けた。しかし、木村は優しさにあふれた人柄と、その強さをもとに、鬼の執念を持つ増田の手によって再び蘇った。もう一度言う。これは死に場所を失った優しき鬼を弔う、介錯の一冊である。(A・M)

も言う輩もいる。自らを律する心を忘れず、墮落した人間の甘言には耳を貸さない方が賢明だ。ワンチャンを掴むより、約束された勝利を創り出す。そう。

「お断り」今号では、連載「おすすめのお店探し隊!」は、8面特集として掲載しました。また、連載「教授の背中」はお休みとします。ご了承ください。

【新歓イベント】4月7日(土)部活体験会!(無料) 応援団総部ステージ(デモンストレーション) 4月6日・11日・18日12時50分~ @ママ食堂前 連絡先はこちら→Twitter: @KGU_SHIDOUBU ☎090-3840-6196 ✉toma.melon.ne.jp@icloud.com





K.G. studio

今回のK.G.studioはタイムスリップとK.G. PEOPLEです。タイムスリップでは本学のヒューマン・サービス支援室で専任コーディネーターを務める成安有希さんに、K.G. PEOPLEでは朝来・竹田城下町活性化プロジェクトIIの嶋谷佳奈さんに話を聞きました。

K.G. PEOPLE

#28. 朝来・竹田城下町活性化プロジェクトII 嶋谷 佳奈さん (商・3)



昨年4月に開設された「ハズオン・ラーニングセンター」が主催する社会探究実践演習で、嶋谷佳奈さん(商・3)は朝来・竹田城下町活性化プロジェクトに参加した。本プロジェクトは昨年の秋季に、学部・学年も様々な

人のチームで活動していた。社会探究実践演習は、普段の学部の授業と比べて地域とのかかわりを持つことのできるものとなっている。今回のプロジェクトに参加したメンバーは、昨年春学期に行われた社会探究実践演習Iの授業を履修している。そこで学んだ地域の特性を活用し、今回の授業では、朝来・竹田城下町を活性化させるため、竹田城下町を含む旅行プランを作成した。作成段階から実現までの工程を学生の力でやり遂げるまでには、様々な苦労があったという。

プロジェクトでは、やらなければならないことが多く、かつ立て続けに出てきた。「毎日グループ電話をした。締め切りに追われ、ぎりぎりできかかたかったと感じた」と嶋谷さんは振り返る。また、みんなで共通理解できていない部分があり、一人一人が苦しみ部分もあったという。誰がリーダーというところでもなかったため、できない人の分を誰かが補うということもあった。お互いが全員のことを思いやり動いていたのではないかと続けた。しかし、全員で改めて話し合い、協力し合うことで、プランを完成させられた。苦難を乗り越え、プロジェクトが終了した今でも固い信頼関係で結ばれているという。

また、今回のプロジェクトでは、プランの制作段階に学内で調査を行った。特に竹田城下町の観光と同時に楽しめるスポットを尋ねるアンケートでは、想定と異なる回答が多かった。この経験から、旅行プランを紙の上だけで考えるのではなく、実際に生の声を集めることの大切さに改めて気づいたという。

嶋谷さんは「このプロジェクトを通じて、座学では体験できない様々な課題を解決するプロセスを学ぶことができた。この経験を活かして、この先の社会人生活に役立てていきたい」と語った。

2011年3月11日、私が高校2年生のときに東日本大震災は起こりました。そのころの私は、被災地のために何か行動を起こしたいと考えながらも、何もできずに悔しい思いをする日々を過ごしていました。

関学生としての生活が始まると、すぐにボランティア活動に積極的に参加するようになり、入学してからの2年間は社会学部のボランティアバスなど、本学の団体を通して活動に参加していました。3年生からはボランティア専攻のゼミに所属し、個人でもボランティア活動に参加するようになり、とても充実した日々を過ごしていました。NPOで海外の災害援助をしたり、子供たちと一緒に防災キャンプをしたり、そのころの活動の記憶は今でも鮮明に蘇ってきます。

そのような活動に明け暮れる日々の中で、私は現在の職業に就ききつかけとなった人物との出会いを果たしました。その方はNPOの事務局長の方で、私が今まで言葉にできなかったボランティア活動の経験そのものや、そこから考えていたことを言葉にしてくれました。そのことにより私は自分のしてきたこと、今していることが間違っていないことではないかと思えるようになり、そしてボランティア活動に携わり続ける決心をしました。

現在私は本学正門横にあるヒューマン・サービス支援室で、ボランティアコーディネーターをしています。その内容はボランティア活動に興味を持って訪ねてきた学生への様々な活動の紹介や、学生コーディネーターとのイベントの企画、熊本地震現地ボランティアの同行などです。関学生に活動を紹介することが主なので、自分が学生だったころのように現地向かう機会は減りましたが、日々やり

がいを感じています。支援室でたくさんのお話をすることによって彼らがやりたいことを見つめ、来たときより少しでも前向きな表情で帰っていくの経験が今に生きているという実感を得ることができています。

夕暮れ時の優しい風がふわり、と教室のカーテンを揺らしていく。グラウンドでは運動部が元気に走り回っているようだが、反対に校舎内は昼間の喧騒のように静かだ。ハルは机に頬杖をつきながら、外を見つめた。もろろん、校舎内に誰もいないというわけではない。現にどこからか、楽器の音が聞こえてくる。音楽室の吹奏楽部だろ。とりとめもなくそんなことを考えていると、ふうう、と大きな息の音が教室の静寂を破り、思わず注意を目の前に戻す。ハルの目の前でさっきから爆睡しているのは、幼なじみのナツである。

今回取材したのは、本学ボランティア活動支援センター、ヒューマン・サービス支援室の専任コーディネーターの成安有希さんである。学生時代からボランティア活動に携わり、現在は関学生のボランティア活動の支援を行っている。

そのような活動に明け暮れる日々の中で、私は現在の職業に就ききつかけとなった人物との出会いを果たしました。その方はNPOの事務局長の方で、私が今まで言葉にできなかったボランティア活動の経験そのものや、そこから考えていたことを言葉にしてくれました。そのことにより私は自分のしてきたこと、今していることが間違っていないことではないかと思えるようになり、そしてボランティア活動に携わり続ける決心をしました。

現在私は本学正門横にあるヒューマン・サービス支援室で、ボランティアコーディネーターをしています。その内容はボランティア活動に興味を持って訪ねてきた学生への様々な活動の紹介や、学生コーディネーターとのイベントの企画、熊本地震現地ボランティアの同行などです。関学生に活動を紹介することが主なので、自分が学生だったころのように現地向かう機会は減りましたが、日々やり

がいを感じています。支援室でたくさんのお話をすることによって彼らがやりたいことを見つめ、来たときより少しでも前向きな表情で帰っていくの経験が今に生きているという実感を得ることができています。

また、今回のプロジェクトでは、プランの制作段階に学内で調査を行った。特に竹田城下町の観光と同時に楽しめるスポットを尋ねるアンケートでは、想定と異なる回答が多かった。この経験から、旅行プランを紙の上だけで考えるのではなく、実際に生の声を集めることの大切さに改めて気づいたという。

「恋人、とかいるんだらうね」柔らかな頬を指でつつく。ううん、と唸りつつもまるで起きている気がない。ハルはくすりと笑いながら、その無防備な寝顔につられて、大きなあくびをした。どうやらこの生徒役はもうしばらくこの状態のようだし、少しくらい良いだろうと、机の上に腕を組み、自分も眠る体制に入る。

タイムスリップ 第19回 成安有希さん (16年卒)



成安 有希 (なりやす・ゆき)
1993年大分県生まれ。2016年に関西学院大学社会学部卒業。卒業後は本学ヒューマン・サービス支援室で専任コーディネーターに従事。様々なボランティア活動に携わっている。

「お互いに色んな話をする事によって彼らがやりたいことを見つめ、来たときより少しでも前向きな表情で帰っていくの経験が今に生きているという実感を得ることができています。」

「放課後」
安永あきら

夕暮れ時の優しい風がふわり、と教室のカーテンを揺らしていく。グラウンドでは運動部が元気に走り回っているようだが、反対に校舎内は昼間の喧騒のように静かだ。ハルは机に頬杖をつきながら、外を見つめた。もろろん、校舎内に誰もいないというわけではない。現にどこからか、楽器の音が聞こえてくる。音楽室の吹奏楽部だろ。とりとめもなくそんなことを考えていると、ふうう、と大きな息の音が教室の静寂を破り、思わず注意を目の前に戻す。ハルの目の前でさっきから爆睡しているのは、幼なじみのナツである。

「あ」とくらくら、「一緒にいられるかな」ハルは高校三年。ナツにはまだ伝えていないが、大学は県外を考えており、来年からは一人暮らしをする予定だ。こんなふうに時間が取れるのはもう最後かもしれない。長いまつげ、すっと通った鼻筋。いつまでたってもかわいらしいと思っていたナツの顔は改めて見ると、とても整っていた。

「気づいているんだか、いないんだか」しばらくの間そうしていたが、ナツはまたいつの間にか目を閉じ、眠りだした。

再び教室は暖かい沈黙で満ちる。突然の校内放送で二人が飛び起きるまで、あと三十分。



新入生号特別ver.

関学 春の新店まつり 2018

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。さてこの春、本学西宮上ヶ原キャンパスに新しいお店がオープンします。在学生も知らないであろう新着情報を、今読んでいただいているあなたにだけ、一足早く教えちゃいます!

NEW セブン-イレブン

日本国内に約2万店を展開し、商品力で圧倒する国内最大のコンビニエンスストアがオープン。弁当や飲料等、通常店舗とはほぼ同様の品ぞろえ。雑誌等の取り扱いに加え、セブンカフェやセブン銀行ATMも設置される予定。

DATA

オープン: 3月26日
場所: G号館1階 (ファミリーマート跡地)
営業時間:
 平日 8:00-20:00
 土曜日 8:00-20:00 (授業期間外は一部短縮)
定休日: 日曜日 (詳細は未定)

ケンタッキーフライドチキン

本学限定のセットメニューが充実。数量限定の「ケンタ丼」や「チキン南蛮丼」のセットも人気。

DATA

場所: H号館1階
営業時間:
 平日 10:00-17:00
 土曜日 10:00-15:00
定休日: 日曜日 (詳細は未定)

松屋

牛めしの並サイズが、みそ汁付きで290円など、圧倒的なコスパが魅力。テイクアウトも可能。

DATA

場所: H号館1階
営業時間:
 平日 10:00-17:00
 土曜日 10:00-15:00
定休日: 日曜日 (詳細は未定)

NEW スターバックスコーヒー

アメリカ・シアトル生まれの「スペシャルティ コーヒーストア」が本学に新店。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出した、バラエティ豊かなエスプレッソドリンクを提供。通常店舗と同様の価格やメニュー展開となる見込み。

DATA

オープン: 4月2日
場所: G号館1階 (サブウェイ跡地)
営業時間:
 平日 8:30-19:00
 土曜日 10:00-17:00 (授業期間外は一部短縮)
定休日: 日曜日 (詳細は未定)



西宮上ヶ原
キャンパスMAP



新聞総部イメージキャラクター
ユースケ

編集後記

このほかにも、学内各所には大学生協が運営する食堂やコンビニ、新学生会館には三田屋、東京庵、神戸屋レストランが新店しています。関西学院大学新聞は、これからも関学生に有益な情報をお届けしてまいります。ご期待ください。(T・N)

※現在掲載されている内容については、予告なく変更される可能性がありますので、ご了承ください。

関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・
 大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995
 E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード